

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (ものづくり・地域産業コース)			訪問国	英国
学校名	静岡高校	氏名	西本結希	学年	2年

留学の概要

1. 留学地域 イギリス ロンドン
2. 留学期間 2024/7/20～2024/8/12
3. 留学のテーマ 古家具のアップサイクルの価値と可能性を探る

テーマと留学先の設定理由

家具は日常生活に必要不可欠なものです。家具は様々な国の独自の文化の中で独特な変化をしており、北欧家具やイギリス家具などは代表的な例です。しかしそのような家具も現代では安価で大量生産向きの家具に置き換わってきました。安価に家具を買うことができる時代になった現代、頑丈で芸術的な家具は姿を消しつつあります。私はこの現状がとても悲しかったです。人々の生活は安価なものをたくさん買うだけで豊かになるのでしょうか。考え方に個人差はありますが、私はそのような考え方に反対でした。先人の知恵と技術を詰め込んだ家具はとても大きな価値があると私は信じているからです。そこで、私はそのような家具をもう一度作るのではなく、長く家の奥で眠っているものをアップサイクルすることでもう一度あたらしい命を吹き込もうと考えました。家具を製作するには多くの時間と費用が掛かりますがアップサイクルは元ある家具を生き返らせるため、新規で作成するよりも安価に頑丈で芸術的な家具をもとの形に作り替えることができます。そこで家具や家具のアップサイクルで有名なイギリスに留学をしました。

探究活動の概要

1. アップサイクルを行う工房でのヒヤリング

アップサイクルの価値や重要性、どのようにして人々に浸透しているのか、イギリスの人たちにとってアップサイクルはどのようなものなのかを知るために工房を訪れてインタビューを行いました。

2. 家具に関する街頭調査

アップサイクルがイギリス人にとってどのようなものなのか、アップサイクルをされた家具は店舗や普段の生活に用いられているのか調査を行いました。



探究活動の成果

訪れた工房では、中古の家具を安価で購入し、修理とペイントを施して再販売するというプロセスが行われていました。職人たちは一つ一つの家具が再び長く使えるように手を加えて仕上げていました。このようにして生まれ変わった家具は、再度新しい所有者のもとへと旅立つそうです。イギリスでは、古い家具を修理して再利用することが長い間伝統として根付いてお

り、この文化が今でも大切にされているためアップサイクルが人々に浸透したそうです。

街を歩いている時、ジュエリーショップやアパレルショップで派手にアップサイクルされた家具が展示品として使われているのを見かけました。古い木製のテーブルが鮮やかな色に塗られていたり、ユニークなデザインに改造されて、店舗のインテリアとして活躍したりしている様子が印象的でした。また、カフェの棚などにもアップサイクルされた家具が使われていて、温かみのある雰囲気を醸し出していました。



探究活動のまとめ

家具のアップサイクルは環境にやさしいだけでなく人々の生活を豊かにするという点でとても大きな価値がありました。また、新しい家具産業として成長していける可能性も秘めていました。物を大切にするという考え方が薄れてきている現代の中で物を長く使うことはとても重要なことであり、心を満たすためにとても重要なことだと考えました。

日本では昔から気候などの影響で家具の寿命はそれほど長くなかったです。しかし近年の技術革新によって住空間がより快適になったため、今の日本なら家具を長く使うことも可能です。それによって日本にも家具を長く使う文化が広く浸透すると嬉しいです。



家具のアップサイクルは価値も可能性も秘めているため、アップサイクルの良さを一人でも多くの人に伝えていきたいです。

探究活動と留学を通して

留学では探究活動に加えて様々な活動がありました。エバンジェリスト活動など探究するために留学をするといっても自分ひとりだけでなく様々な人と関わり、様々な活動を行いながら海外での生活を送っていくことになります。楽しいことがある分つらいこともたくさんありました。留学をするにあたって私が大切だと思ったことは「好きなことをやること」と「周りを頼る」ことだと思います。

私は将来モノづくりにかかわる仕事をしたいと考えており今回はその第一歩として家具について探究をするためにイギリスを訪れました。私自身イギリスの建築や文化に憧れがあったため、つらいこともそれほど目につかず夢の中で暮らしているような気分でした。言語の壁は高く、どうしても解決できないときもありましたが、多くの人の助けを借りてどうにかすることができました。

留学は非日常だからこそストレスを抱えたりする場面が多くあります。しかし、これを乗り越えることで私は成長をすることができました。

これからも好きなことを楽しみながら成長していけるように、楽しみながら日々の生活を送っていきたいです。